

# 年頭のご挨拶

鹿児島市長 下鶴 隆央



令和七年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

鹿児島市医師会の皆様におかれましては、日頃から、昼夜を問わず、医療の最前線でご尽力されていることに深く敬意を表します。

また、夜間急病センターの管理運営や予防接種・健診・検診、介護保険の認定、本市主催の各種協議会等への参画など、市政の各方面にわたり、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

このたび、私は、先の市長選におきまして鹿児島市長として二期目の市政運営の重責を担わせていただくことになりました。

引き続き、「市民のための市政」を基本に、第六次鹿児島市総合計画に掲げる都市像「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」の実現に向け、持てる力と情熱のすべてを傾注してまいります。

さて、我が国では世界に類を見ない急速なペースで人口減少・少子化が進行しており、急激なデジタル化や地球規模で深刻化する環境問題、長引く物価高騰など、大きな時代の転換期にあります。

本市におきましても、こうした時代の潮流を的確にとらえ、将来にわたって活力を維持していくために、子育て世代や若者をはじめ、すべての方々に「選ばれるまち」を目指していく必要があると考えております。

主な取組としましては、子ども医療費無償化の拡大をはじめ、各面から妊娠、出産、子育ての支援に取り組むほか、こどもまんなか社会の実現に向けた子ども政策の推進や、すべての人が幸せや豊かさを実感できるウェル

ビーイングなまちづくりを進めるとともに、大規模災害に備えた安心安全なまちを目指します。

また、引き続き、ICTを積極的に取り入れ、市民にわかりやすい便利な市役所づくりを進めてまいります。

人口減少時代を乗り越え、次の世代に豊かな鹿児島市を引き継ぐために、市民の皆様との協働・共創はもとより、本市に想いを寄せる方々との連携など、多様なつながりを力に、時代に未来に「選ばれるまち」の実現に全力を尽くしてまいります。

今後においても、皆様方との緊密な連携のもと、健康増進計画による健康づくりの啓発や元気いきいき検診事業などの疾病の予防・早期発見の充実に積極的に取り組み、質の高い地域医療の充実と市民の健康増進を推進してまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、新しい年が未来への夢と希望の持てるすばらしい年となりますことと、鹿児島市医師会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。